

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第193号

発行日 2017年12月1日発行

ビジネス行動要請(BCtA)

皆さまこんにちは、社長の近藤です。会宝産業は、日本の中小企業として初めて、国連開発計画（UNDP）が主導する「ビジネス行動要請（BCtA）」の取り組みに応えるものとして評価され、承認されました。

BCtAとは、国連が提唱する世界の貧困削減や環境保全、雇用創出といった「持続可能な開発目標（SDGs ※）」の達成を促進する目的で、企業・政府・開発援助機関が参加するグローバルな取り組みです。

今回の承認理由は、会宝産業の自動車リサイクルの海外展開事業が、商業的成功と持続可能な開発を両立する取り組みとして高く評価されたものです。

世界では、急激な人口拡大と経済発展に伴い、自動車保有台数は約13億台に上ります。一方で、使われなくなった自動車（使用済み自動車：End-of-Life Vehicles, ELVs）に必要なインフラ・技術・規制については、ほとんどの国が未整備かつノウハウを持っていません。ELVsの処理は適切な設備と技術がなければ、大変危険で汚い作業を伴います。廃油・鉛による土壌汚染、廃プラスチック・ガラス・タイヤの投棄・野焼きによる環境汚染は大きな社会課題となっており、近隣住民の健康を脅かしています。

会宝産業は、現地の政府・民間企業と協働し自動車リサイクル政策の立案サポートを行い、自動車リサイクル工場設備、生産工程、リサイクル技術・経営ノウハウの技術を総合した自動車リサイクルシステムの提供を行っています。環境配慮型の自動車リサイクルのリニューアルチェーンを構築することで、現地の雇用創出にも貢献します。

日本の企業でBCtAへの加盟は、パナソニック、住友化学科学、損保ジャパン、資生堂、旭化成、味の素、良品計画、ユニチャーム、伊藤忠、サラヤに次いで、会宝産業が11社目になりますが、中小企業としてまた静脈産業としては、初の承認となりました。

当社は、これからもより一層、新興国・開発途上国における自動車リサイクル事業を通じ、グローバルな社会課題の解決に取り組んでまいります。

※SDGsとは、持続可能な世界を実現するために、地球上の誰一人として取り残されない（Leave no one behind）ことを誓い、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193ヶ国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げられた開発目標です。



国内部品課より ～冬の準備 まだ間に合う！スタッドレスタイヤ～



こんにちは、会宝産業国内部品課の吉川です。冷え込みが強くなって来て冬を感じる様になって来ましたね。車を運転する皆様が冬になると必要になってくるのがスタッドレスタイヤです。もう準備は、されたでしょうか。今年は、例年と異なりタイヤ大手メーカー4社が新品タイヤの値上げを発表しました。タイヤの値上がりは、自動車維持費の上昇に伴い、家計には痛手になります。新品スタッドレスタイヤは高いですね。そこで家計を救い、環境にも優しい、いい話があります。それは、エコでリーズナブルな中古のスタッドレスタイヤです。中には、まだまだ使用可能な物が新品の半分以上の価格で購入できます。

「中古品って大丈夫？」「いざって時、効かないのでは？」「長持ちしないのでは？」と心配される方も多いと思います。しかし会宝産業グループで販売する中古品は、しっかり再使用できるかを検品しています。中には、1シーズンしか使用していない物、残り溝が9分山以上ある物など良質な物も沢山あります。会宝産業グループでは、毎年約1500セットの中古スタッドレスタイヤを在庫しています。毎年ですが雪が降ってから購入しようとした時には、購入する人が殺到してあっという間に売れてしまいます。もちろん良質な物から売れて行きます。そうすると良い物が選べない、合う物が無い、高い新品を購入しなければならない、なんて事になってしまいます。中古品は、1品1品状態が異なります。同じ物は有りません。売れてしまったら、もう同じ物は買う事は出来ません。良い物を購入するには、早め早めに探すことが大切です。準備がまだの方は、是非お早めに、お問い合わせください。



農業の取り組み ～農業事業部より～ 【 Selamat dating! 】



遠路はるばるマレーシアから会宝産業に研修にいらっしゃった皆さんが、会宝農園の視察にいらっしゃいました。タイトルの見慣れない言葉は、「スラムッ ダタン」というマレーシア語で、日本語に訳すと「ようこそいらっしゃいました！」という意味の挨拶です。研修生の皆さんは、当農園の取り組みを熱心にきき、説明役の私にたくさんの質問もしてくれました。当社の通年栽培に関しても称賛の声をいただきました。そして、しあわせのトマトを試食した研修生が口を揃えて「Very Good!!」「I want a lot more!(もっと欲しいです!）」とってくれたことは、大変光栄でした。

日頃お世話になっている「道の駅のと千里浜」にお連れし、駅長様にご案内いただきました。ジュラートを食べて一息ついた後は、自然栽培米や特産品を自国の家族や友人へお土産のためのお買い物をし、道の駅を堪能していました。とても「充実した時間となりありがとうございました！」という喜びのご感想をお寄せいただきました。

農園の中で、研修生の皆さんが一番興味関心をしめたもの・・・それは、「廃油温風機」です。とても珍しいということと、熱源が廃油ということが皆さんの探究心にスイッチを入れたようでした！先月から温風機が稼働しはじめました。外気温が下がり、これからますます温風機が活躍する季節がやってきます。北陸において冬季でもトマトを栽培し、期待してくださっているお客様にお届けできることに喜びを感じ、美味しいトマトづくりに励んでいきます！（担当：田中）



☆健康効果や美容効果が期待できる栄養素「リコピン」たっぷりのトマトはいかがですか？
【会宝農園インターネットショッピングサイト】 <http://agribalance.jp/>



社員海外レポート



海外事業部の鈴木です。インドの首都デリーへ1週間出張に行ってみりました。目的は、インドで自動車リサイクル法を検討している交通大臣への面会と、現地パートナーと事業提携の覚書を交わすことでした。インドは13億人の人口を抱え、日本の10倍以上です。インドの自動車保有台数は41百万台、中国と日本に次いでアジア3番目となっています。一方で、インド環境省によると、2015年時点でELVs（End-of-Life Vehicles；廃棄自動車の略称）の数は約1,200千台と推計され、2025年には4,000千台にまで増加する見込みです。

多くの新興国・発展途上国がそうであるように、ここインドも経済成長の弊害が現れています。実際、私が滞在している際に、大気汚染は深刻化し、PM2.5の濃度がWHOが定める安全基準の30倍以上のレベルに達し、学校が休校になるほどでした。（写真）

一方、リサイクル事業が成り立つかどうかという観点からすると、経済成長と堅調な建材需要によって、インドのスクラップ資源価格は、日本と比較しても高く、ELVを安定的に調達できれば、事業の収益性は担保できると思います。しかし、廃棄物処理の規制がなければ、当社のような環境配慮型の事業は、既存のインフォーマルセクターの事業者よりも事業コストが高くつくため、競争で負けてしまいます。今後も、政府と協働していくことで、日本の環境配慮型の技術移転、循環型社会の実現に貢献できればと思います。



今月のパチリ☆



11月7日から会宝産業内の国際リサイクル教育センター（IREC）で、JICA北陸様から受託した研修「マレーシア／LEP2.0使用済み車両リサイクル」を実施しています。研修にはマレーシアの行政官や大学関係者8名が来日、参加しています。

現在マレーシアでは使用済み車両の廃棄・再利用に関する国の基準がなく、政府の外郭団体のマレーシア自動車協会（MAI）の策定した基準を国の基準に格上げする計画が議論されていて、日本の事例を参考に自国の基準整備や人材育成を図る目的で実施しています。研修は12月8日まで行なわれます。金沢の気候はマレーシアと違って寒いですが、体調を崩さず、無事に研修を終えられるよう全力でサポートします。（担当：松本）



相場情報 ～生産部より～



2017年11月実績

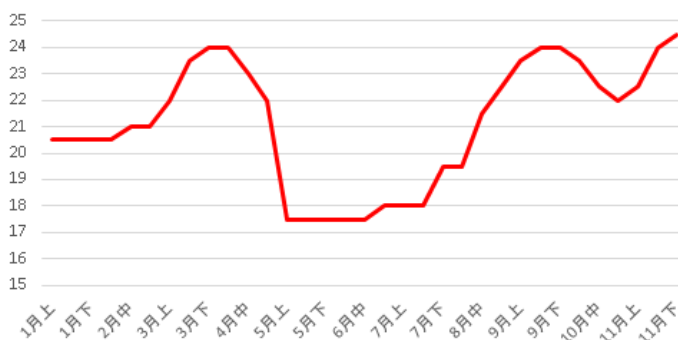
入庫台数	930台
処理台数	900台

こんにちは。会宝産業の山口です。北陸では霰の降る日が多くなってきました。

さて、相場はというと・・・今月は小幅ながらも月初から連続して鉄スクラップの値上がりが有り、2,500円/トン～3,000円/トン程まで上がったのではないのでしょうか。これは内需（日本国内での需要）に対して電炉の供給が不足したのが原因となり、東京製鐵も今月は5度に渡って値上げ実施しました。また、年末も近いということもあって電炉サイドも年越しの在庫を確保する動きに出るのでは？という話も出ています。

非鉄関連も特に銅、アルミが高値で動いていますが、年末年始に相場が動く事もよく有ります。しっかりとアンテナを張って管理していきたいと思います。

2017年鉄スクラップ推移(円/kg)



今月のトピックス

～ ツエーゲン金沢 シーズン報告会 ～

会宝産業は、ツエーゲン金沢のスポンサーになって7年が経ちました。7年前のツエーゲンはJFLというアマチュアのカテゴリーでしたが、J3の初代チャンピオンという栄光を経て、今シーズンはJ2の2シーズン目を17位という成績で終えました。

そのシーズン報告会が先月ありましたが、来期に期待ができる素晴らしい雰囲気でした。弊社もスポンサー活動をする中で、社員が応援に行ったりと、福利厚生にも活かされています。今後も地域貢献の一環として、微力ながら応援していきます。（担当：佐藤）



会宝産業株式会社 国内業務部

住所が変わりました！

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車両課（車両引取り・査定）

TEL 076-237-5347

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

部品課（部品注文/担当:大森・角島）

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp（担当:宮村）

